

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 18人

スタッフ、L 玉田 南山、坂口、坂本、松本、庄司、原田、北原、井上裕、井上圭
受講生 義間、伊瀬、播磨、一般5人

2. 山城/ルート 比良山系 権現山～蓬莱山

3. 交通手段 マイクロバス (21人乗り)

行き：明石 6:30 三ノ宮 7:10 出発---平バス停 9時10分着
帰り：ひらとピア (温泉) 5:30---三宮 7:30

4. 行動記録

<入山日 2015年 1月31日>

平バス停 9:20---9:45 林道ワカン装着---10:00 林道登山口---11:50 権現山---12:40 ホッケ山---
14:00 小女郎峠---14:40 蓬莱山---15:20 ゴンドラ山頂駅

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
悪天候と時間の遅れにより、小女郎池には立ち寄らなかった

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

午後から予想以上に天候が悪化し、スノーハイクというより厳しい雪山登山となってしまった。
特に蓬莱山頂に到達した時は、風雪とホワイトアウトで、びわ湖パレースキー場のリフトがすべて止ま
っていた。私たち18人はパトロール隊 (スノーモービル) の誘導でスキー場を下山することになった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

① 一般募集のスノーハイキング講習のコースは、天候悪化もありかなりハードでした。

一般募集するならもう少し簡単なコースを考えたほうがよかった。

② 昼食休憩時ツェルトをうまく使えず、風雪の中で震えながら食事をする班があった。これはスタッ
フの経験不足によるもので、スタッフの事前トレーニングが必要であった。

③ 会員からレンタルしたスノーシューのベルトが装着前から切れていた。シュリングテープでくくり
つけたので、一度も外れることなく使用できたが、レンタルの装備も事前のチェックが必要であった。

④ 荒天に急変した時、スタッフは受講生の装備に不備がないか、注意してあげる。たとえば目出し帽や
ゴーグルをきちんと装着できているか、手袋の濡れなどないか、など気を配る必要があった。

報告者氏名 玉田優子 2015年2月5日